屋内タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要																			
タラン	室の構造	壁	延焼のあ		おそれ 外壁					床									
ンク専用			その	つ他	の壁					出入口			(しき	いる	事さ			cm)
用		屋			根					その他		Ĺ							
			の一部に 専用室を		皆数	設置階				建築i			築面	ī積					m²
設ける場合 築物の構造				直	≛築物 ∅)構造概要													
タ	形	<i>;</i>		状					常	圧	• 7	加	圧	(kPa	a)
ン	寸 法			法					容				量					_	
ク	材	質	、板	厚		_													
0	世		<i>► \</i>		種		另	IJ		数			内	径	又	は	作	動	圧
構			気	管															mm kPa
造	安全				種		另	IJ		数			作			動			圧
設			装	置															kPa
備	液量表示装置			是置					引力	火防	止	装置	置		有	•	\$	₩	
注入口の位置										地					有	•	4	#	
ポン	ノブ	"設備	帯の根	要				T.					•						
採光、照明設備						換気、排出の設備													
配管																			
消	消火設備					警 報 設 備													
工事請負者 住 所 氏 名						電話													

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造の欄は、該当する場合のみ記入すること。